

藤井學先生年譜・著作目録

年譜

生年月日

昭和七年三月一日生

学歴

昭和二八年三月

岡山大学法文学部史学科卒業

昭和三〇年三月

京都大学大学院修士課程終了（文学修士）

昭和三五五年三月

京都大学大学院文学研究科博士課程退学（単位取得）

職歴

昭和三五五年四月

京都大学研修員に採用

昭和三八年六月

京都府立大学短期大学部専任講師

昭和四八年四月

京都府立大学文学部教授

平成七年三月

同大学停年退官

京都府立大学名誉教授

平成七年四月

奈良大学文学部教授

平成九年四月

奈良大学総合研究所長（平成一一年三月まで）

平成一〇年四月

奈良大学大学院文学研究科長（平成一二年三月まで）

平成一二年四月

奈良大学長（平成一四年一月まで）

学会及び社会における活動等

仏教史学研究会評議員

京都大学史学研究会評議員

財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター理事

金沢市史専門委員

八幡市文化財保護審議会会長

文化庁賀茂別雷神社文書調査主任

著作目録

○ 編著書

『日本仏教史』中世編（共著）、法藏館、昭和四二年

『京都の歴史』三〜八（共著）、学芸書林、昭和四三〜四

四・四七〜五〇年

『南禅寺文書』上・中・下巻（共編著）、南禅寺、昭和四

七・四九・五三年

『日本仏教の思想』岩波思想大系五七、岩波書店、昭和四

八年

『一休宗純』平凡社、昭和五五年

『図説日本仏教史』第三卷（共著）、法藏館、昭和五六年

『向日市史』上巻（共著）、向日市、昭和五八年

『泉涌寺史』（共著）、法藏館、昭和五一〜五九年

『向日市史』下巻（共著）、向日市、昭和六〇年

『神道大系 神社編三八』（共著）、（財）神道大系編纂会、

昭和六一年

『神道大系 神社編三五』（共著）、（財）神道大系編纂会、

平成三年

『神道大系 論説編熊澤番山』（共著）、（財）神道大系編纂

会、平成四年

『大乘仏典 日蓮』中央公論社、平成五年

『岡山県の歴史』（共編著）、山川出版、平成一一年

『神応寺文化財調査報告』八幡市教育委員会、平成一二年

『法華宗大本山本能寺』大本山本能寺、平成一四年

『本能寺史料』全五巻、思文閣出版、平成四〜一四年

『法華文化の展開』法藏館、平成一四年

『本能寺と信長』思文閣出版、平成一五年

『法華宗と町衆』法藏館、平成一五年

○ 論文

法華宗不受不施派についての一考察、近世初頭におけるそ

の思想と社会的基盤を中心として、『日本史研究』

三六、昭和三十三年

法華専修の成立について、『仏教史学研究』八一三、昭和

三四年五月

日蓮と神祇、『日本史研究』四三、昭和三十四年七月

中世における国家観の一形態―日蓮の道理と釈尊御領を中

心に、読史会『国史論集』、昭和三十五年

仮名草紙と法華宗―『妙正物語について』―、『岡山史学』

九、昭和三十六年

江戸幕府の宗教統制、岩波講座『日本歴史』第一一巻近世

三、昭和三八年

近世初頭における京都町衆の法華信仰、『史林』四一―六、

昭和三八年一月

本阿弥光悦と日笠紙、『芸能史研究』五、昭和三九年

日奥―不受不施に殉ずる―、『歴史の京都』第三卷、淡交

社、昭和四五年

栄西禪と茶、『茶道雑誌』三五卷一号、河原書店、昭和四

六年一月

叡尊・忍性と茶、『茶道雑誌』三五卷二号、河原書店、昭

和四六年二月

宇治の叡尊十三重塔再建―福田海を中心にして、『茶道雑誌』

三五卷三号、河原書店、昭和四六年三月

石塔別所と阿育王塔、『茶道雑誌』三五卷五号、河原書店、

昭和四六年五月

中世南禅寺の茶湯間、『茶道雑誌』三六卷八号、河原書店、

昭和四七年八月

日像―題目流布 初めて京の町へ―『歴史と人物』二、中

央公論社、昭和四九年

近世初期の政治思想と国家意識、『岩波講座日本歴史』第

一〇巻近世二、岩波書店、昭和五〇年

妙秀―正直正路の生涯―『東方界』二七、昭和五一年

大鹿妙宣寺覚書、『地域研究いたみ』八、伊丹市立博物館、

昭和五三年

中世備前法華門徒の比企・池上・身延参詣について、水野

恭一郎先生頌寿記念論集『日本宗教社会史論叢』、国

書刊行会、昭和五七年

本阿弥一門の思想構造について―妙秀と光悦の法華信仰を

中心として、藤井駿先生喜寿記念会編『岡山の歴史と

文化』、福武書店、昭和五八年

初期法華一揆の戦闘分析―山科・石山攻めを中心にして、北

西弘先生還暦記念会編『中世社会と一向一揆』、吉川
弘文館、昭和六〇年

桃山の法華文化、『文化財報』六二、昭和六三年

応永の法難と法華宗の「かくれ里」知見谷の歴史について、

『桂川流域学術調査報告』、京都府立大学女子短期大学
部、昭和六三年

光悦―その信仰と世界―、大阪市立美術館・日本書芸院編
集『光悦の書―慶長・元和・寛永の名筆―』、平成二
年

「かた法華」と「ひら法華」、『文化財宝』八一、財団法人
京都文化財団、平成五年

洛北の祭と芸能、『洛北―その自然と文化』、京都府立大学
女子短期大学部、平成五年